

第39回

高知市

令和5年度選考結果

都市美 デザイン賞

Kochi City
Scenery Design Award



こころ豊かな景観を創り出すために

都市美とは・・・

「都市美」というと、造形的に美しい街並みを想像しがちですが、私たちの心に豊かさを与えてくれる自然、人の心づかいとふれあいのある風景も「まちの美しさ」のひとつではないでしょうか。

建築物、街並み、みどりや水辺などの自然環境と歴史、文化、優しさ、親しみなどの快適さを地域に調和させて美しく親しまれる都市景観、個性的で魅力ある都市空間を「都市美」と定義し、それを創造し、再生し、守っていきたいと考えています。

選考を終えて

今年度の都市美デザイン賞への応募総数は19通であり、その内、審査対象物件は15件であった。審査対象物件の内訳としては、住宅建築部門が2件、一般建築部門が13件であった。

今年度の応募物件は、規模や主要な用途・構造など、それぞれに特徴のある物件が多く、現地調査や景観審議会においては、各委員の様々な所感を交えながら熱心で活発な意見交換が行われ、丁寧な審議が重ねられた。

第一回景観審議会においては、書類や写真による一次審査を行い、住宅建築部門で2件、一般建築部門で6件が二次審査の対象として選定された。

その後の第二回景観審議会では、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことを受け、2年ぶりに出席委員合同での現地調査を実施し、その調査結果を踏まえて二次審査を行った。

その結果、住宅建築部門では、高知の気候風土にマッチし高い評価を受けた1件の物件が入賞となった。

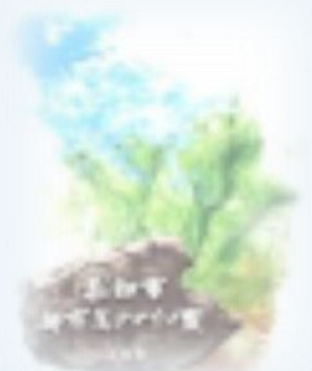
また、一般建築部門では、地域のランドマーク的な存在として都市景観の先導的な役割を担って行くであろうことに期待を込めて評価された物件と、地域の古い水路を景観資源として上手く取り入れることにより歴史的な場所と建築物の調和を図った景観づくりを評価した物件の2件が入賞となった。

ここ数年における応募物件の審査をとおして、都市美デザイン賞の目的である『住み慣れたまちを見直し、地域の魅力ある資源の保全や創出につながる市民意識の高揚』が図れていると感じていることや、来年度は節目となる第40回となることから、自薦他薦を問わないたくさんの応募を頂き、高知市における更なる都市美空間の創出や市民への啓発につながっていけばと期待している。

高知市景観審議会 会長 重山 陽一郎

39th Kochi City Scenery Design Award

主催/高知市



入賞

一般建築部門

ぼうせんりょう ぶらす ろうげつてい
忘筌寮 + 弄月亭



- 建築主…旭ブロック建設株式会社
- 設計者…株式会社THINK建築設計事務所
- 施工者…旭ブロック建設株式会社

敷地南側には古くからの水路があり、石積みの水路と古いレンガ壁が残されていて、その奥にある豊かな植栽とともに、敷地の歴史を感じさせる。

数寄屋造りの母屋と茶室である「弄月亭」は、道路から見える部分だけでも、伝統的な材料・工法で造られており、時間の経過とともに侘び寂びを感じさせるようになるだろう。

その隣のレセプションルームである「忘筌寮」は、外壁をブラックコンクリートと杉板型枠の打放して仕上げた落ち着いた色彩となっており、木製の格子や、金属製の門も古びた色彩や質感の仕上げが用いられているので、水路沿いの歴史的雰囲気と調和した建物となっている。地域の景観資源を上手く取り入れつつ、守っている持続可能な景観づくりの好例として高く評価されての入賞となった。

入賞

一般建築部門

テクノオートジャパン
ショールーム



- 建築主…株式会社テクノオートジャパン
- デザイン・設計・監修…株式会社リョウマコンサルタント
- 設計者…シンクタンクスタジオ株式会社
- 施工者…有限会社創栄工務店

大通りの、角地に立地する、一見すると、おしゃれなカフェテリアのように見えるがディーラーと顧客が交渉をする場所となっている。

外壁は暗いグレーの金属だが、目立ちすぎない上品なデザインの看板や大規模なガラスの開口部から、木材を中心に仕上げられた内部空間がよく見えて、穏やかな印象の建物となっている。

屋根は、高知の強い雨や日射に対応した、深い庇が目目を引く。また、木製の梁が、建物内部から外の庇まで続いているとともに、下部では、カーテンウォールを挟んで外部の植樹帯と内部の人工芝が、建物内外を一体化させている。

このように、印象的な建物であり、この地域のランドマーク的な存在であるとともに、優れた都市景観の創造に寄与していくことが期待されるとして入賞となった。

入賞

住宅建築部門

公園を臨む家



- 設計者…聖建築研究所
- 施工者…建築工房望有限会社

敷地は河川沿いの、住宅街にあり、本物件の高さやスケール感が周辺環境と上手く調和している。

外壁や外構などには、多くの素材や仕上げが使われているが、デザインが破綻する事なく、落ち着いた色彩でまとめられており、高知の気候、風土に適合した意匠である。

また、ディテールの美しさも素晴らしく、隅々まで美しく仕上げられており、特に玄関周辺や、軒裏の美しさが目目を引く建物であり、設計者の力量を感じさせる。

北側の駐車場の緑化ブロックは繰り返し駐車を行っても芝がはがれないように適度な配置がなされており、玄関周辺や、南側の庭園の、きちんと整備された植栽や、塀の切れ目に設置された無機質なメーターを隠す植栽、街並みに潤いを与えている。これらの点が高く評価されての入賞となった。